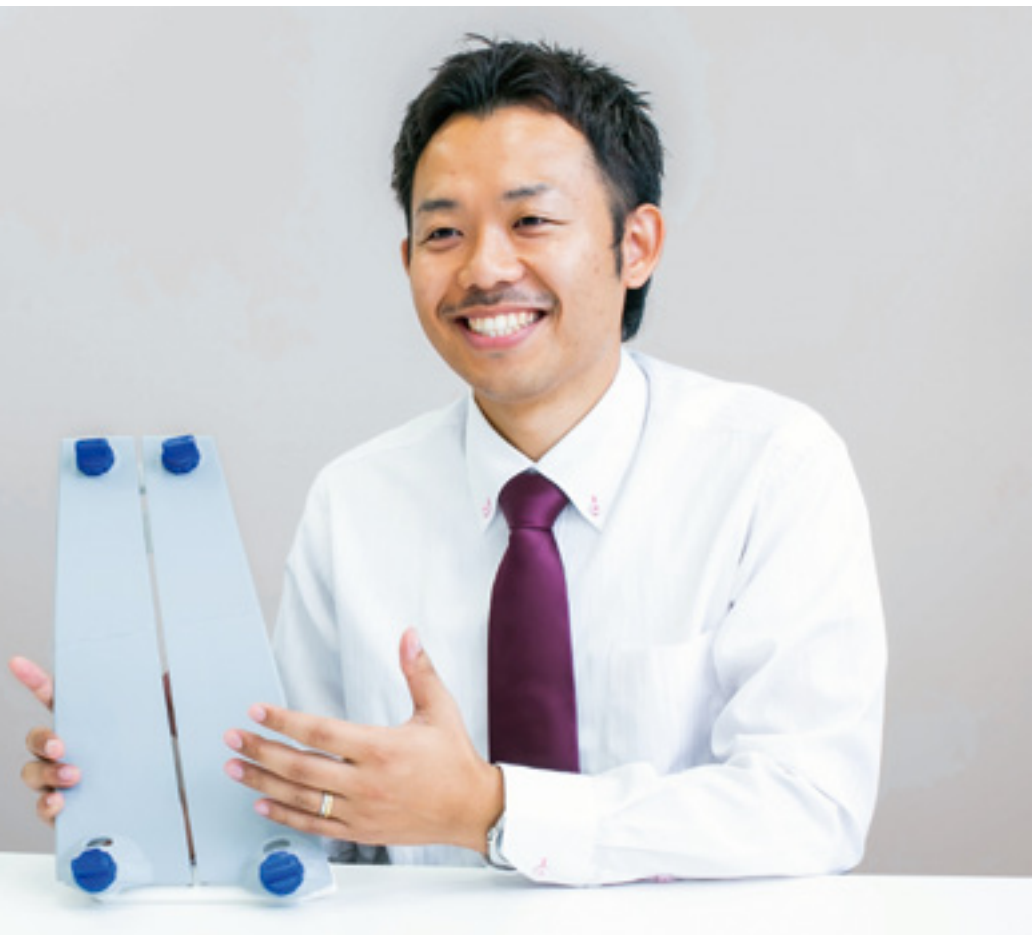


「ふくおか」の
元気な企業を訪ねて。

Hello, Company! No.42

株式会社モビテック

モビテックは名古屋市に本社を置き、3次元CADなどのデジタル技術を使った開発・設計、支援を手がけています。創業は1985年。以来35年間にわたって、自動車の基幹部品であるパワートレーンやワイヤハーネスといった製品開発で技術を培ってきました。現在はその技術力を生かし、詳細設計や品質評価ができる技術者集団が全国で活躍しています。福岡オフィスは2012年に開設しました。モノづくり企業のコスト競争力強化に向けて、デジタル技術の普及に取り組んでいます。



デジタル技術で製作した軽量検査治具（3Dプリンタ品）

DATA | 企業概要



企業名 株式会社モビテック
代表者 長尾 佳吾
所在地 (福岡オフィス) 福岡市博多区上川端町12-20 ふくざん博多ビル8階
TEL 092-273-8300
FAX 092-273-8301
URL <https://www.mobitec.co.jp/>
従業員 12人 (全体475人)
事業内容 開発設計・試験評価・3Dスキャン・3Dモデリング・CAE解析・リバーエンジニアリング・3Dプリンター・3DCAD教育

デジタル技術で コスト競争力強化を支援

デジタル技術でサービス提案



3D技術で福岡、九州のモノづくりを変える

得意とするデジタル技術は、3Dモデリングや3Dスキャン、3Dプリンター、リバースエンジニアリングです。自動車開発での設計はもちろん、開発期間の短縮、コスト低減など様々な課題を3Dモデル、CAE（コンピューター利用解析）で解決します。さらに自動車部品の品質を保証する実験評価まで、製品開発全域を完成車メーカーなどと連携して支援してきました。

そうした実績から3Dを活用したデジタル技術で、お客さまからの改善要求に設計と現場の両目線で応えるサービスを福岡、九州のモノづくり企業に提案しています。

検査治具を軽量化

九州北部エリアは自動車関連の生産拠点が多数立地しています。モビテックのデジタル技術を活用した事例に、自動車のドアフレーム



軽量検査治具でコスト削減

の際間を測定する検査治具の軽量化があります。3Dプリンターで製作したところ、従来治具に比べて8割程度の軽量化を実現。安全、安価、短納期で納品し原価低減に貢献できました。図面がなくても現物さえあれば3Dスキャナーでデータを取得、データ上で強度を含めた治具の検討ができるのもデジタル化のメリットです。

知名度アップと人脈づくりを

軽量検査治具を製作したきっかけは2019年10月にモノづくりフェアに出展し、併催の九州7県で組織する九州自動車・二輪車産業振興会議が福岡市で開いた九州自動車部品現調化促進商談会に参加したことです。九州初となる商談会への参加でしたが、大いに会社の知名度アップと人脈づくりにつながりました。また動画投稿サイト「ユーチューブ」を活用した広報も強化しております。今後もウェブや展示商談会の場を生かして、PRにつなげていきます。



九州自動車部品現調化促進商談会と併催の展示会に出展

MESSAGE

担当者の声



技術企画部営業企画グループ
主任エンジニア
松隈 大侑 氏

福岡オフィスはモノづくりの高効率化や品質向上に向けてデジタル化を目指す企業向けに、3Dセミナー／3DCAD体験会を開いています。デジタル技術への認識をさらに深める実務に沿ったオーダーメイドのCAD教育も実施しており、設計開発を手がける企業を増やしたいです。一方で新たなデジタルデータの活用領域の幅を九州で広げていきます。鉄鋼や医療、航空産業、さらには文化財、インテリア分野なども視野に入れて活動していきたいです。

（お問い合わせ） 自動車産業支援課 TEL：092-622-0040